

AES日本支部・日本学生支部便り

2021年冬号



共同発行 AES日本支部

〒105-0003 東京都港区西新橋3-24-10 Tel: 050-5534-0993

公式ホームページ <https://aes-japan.org/wordpress/>

AES日本学生支部

公式ホームページ <https://japan.aes-student.org/wordpress/>

支部長挨拶	2
2021年度 AES日本支部 運営委員体制	3
2021年度 事業計画	4
基礎音響セミナー2021のご報告	5
例会の活動について	6
日本学生支部 支部長挨拶	8
日本学生支部の活動について	9
編集後記	11

支部長挨拶

AES日本支部 支部長 中澤 哲矢（株式会社 ytv Nextry）

引き続きAES日本支部長を拝任いたしました株式会社ytv Nextry 中澤哲矢でございます。日頃よりAES日本支部の活動にご賛同、ご協力を賜り誠にありがとうございます。



想像以上に長引くコロナ禍に、会員の皆様におかれましても大きな変化や影響を受けられているとことだと思えます。ただマイナス要素だけを考えるだけではなく、AES日本支部としましても前向きに取り組み、より充実した会員サービスを目指してまいりたいと思います。昨年は全ての開催イベントがオンラインで実施となりました。直接、お顔を見てのコミュニケーションが取れないことは大変もどかしい事ではありますが、オンラインならではのメリットも感じる事が出来ました。支部例会では参加の手軽さもあり、今までにないほど大勢の方にご参加頂きました。またデモコンテンツ再生では皆様それぞれの環境で同時に体験が可能になりました。講演者の皆さまにはバイノーラル再生などを駆使して頂き、充実した例会になったのではないかと感謝しております。ポストコロナの時代になった暁も、これらのメリットを活かしたハイブリットな例会を企画していきたいと考えております。そして恒例の基礎音響セミナーもオンライン開催でした。今回で12回目となりました。毎年その内容はブラッシュアップされ、複数年ご受講いただいている方にもご満足頂けているのではないかと思います。100名を超えるご参加があり、今後も日本支部の重要なイベントの一つとして成長させていきたいと考えております。本年度は大きな事業の予定はございませんが、その先に予定される国際コンファレンス開催に向けた準備等を確実に進めてまいりたいと考えております。

コロナの終息を願い、会員の皆様と一日も早くお目にかかれる日が訪れますことを心待ちにしております。末筆になりましたが、本年もAES日本支部の活動にご支援いただけます様、よろしくお願い申し上げます。

2021年度 AES日本支部 運営委員体制

	2021年度（2021年9月～2022年8月）	
	2年	1年
支部長		中澤 哲矢
副支部長	星 和磨	
監事	亀川 徹	内村 和嗣 鈴木 弘明
運営担当	高橋 宏幸 菅野 重信	岡田 詞朗
例会担当	長江 和哉 岸 智也	西村 明 嶋田 美穂（新任）
会員担当	中川原 修 小野 良太（新任）	渡邊 祐子 佐藤 えり沙
会計担当	小谷野 進司	中原 雅考
広報担当	染谷 和孝 小野 一穂	三村 将之 土倉 律子
教育担当	丸井 淳史 河原 一彦	尾本 章 重富 千佳子（新任）
渉外担当	山崎 淳	
アドバイザー	由雄 淳一	
事務局	見上 陽一郎	

2021年度 事業計画

1. 会議

- ・ 定期総会, 運営委員会等
- ・ AES日本支部70周年記念計画
- ・ 国際ゲームコンファレンス開催 (@東京、開催日未定) に向けたローカル会議

2. 事業

- ・ AES基礎音響セミナーの開催
- ・ AES日本学生支部主催AESジャパンフォーラム開催サポート

3. 支部体制の充実と効率化

- ・ 支部会員向けのサービスの拡充 (ホームページ充実など)
- ・ 賛助企業向けサービスの拡充 (イベント等との連携)
- ・ 新会員の獲得とアソシエイト会員からフルメンバー会員への移行促進

4. 会員情報の管理と会員への連絡

- ・ 本部会員データベースの活用を推進しセキュアな連絡体制の構築
- ・ WEBを活用した会員更新手続きの利便性の向上を図る

5. 例会

- ・ 見学会・講演会を主体として、計10回程度開催予定
- ・ 外部イベントとの連携も視野に入れ幅広い内容を図る
- ・ 地方開催の推進

6. 懇親会

- ・ 2回 (2021年12月, 2022年8月)

いずれもコロナの状況を鑑みて、開催方法や内容を運営委員会で精査し実施する予定。

以上

基礎音響セミナー2021のご報告

AES日本支部 教育担当

河原 一彦（九州大学）・丸井 淳史（東京藝術大学）・尾本 章（九州大学）

2021年9月に12回目の「AES基礎音響セミナー」を開催した。昨年度に引き続きコロナ禍での開催自体の是非、あるいは開催する場合の方法が議論されましたが、結果的にオンラインでの開催方針が決定され、昨年度のほぼ同規模で開催された。

2021年9月18日(土)から9月20日（月・祝）にわたって、Zoomによるウェビナーをもちいて開催した。それぞれの分野において第一線で活躍しているプロフェッショナルを講師として迎え、基礎物理音響学、電気音響、デバイスの在り方、室内音響学、実用的なデジタル信号処理など、オーディオに関わる幅広い内容の講義がおこなわれた。

オンラインでの実施であり、実習、体験中心である「マスタークラス」の開催は今年も見送られた。昨年度と同様に、受講対象者をAES会員ならびに賛助会員企業様のメンバーに限定した。受講者のみなさまのご協力もあり、特に大きな問題はなく、セミナーを実施することができた。また、セミナーの一部におけるテキストは、後日ダウンロードできる形式とした。

参加登録者数は142名（一般71名、学生24名、賛助会員47名）であった。

<セミナー概要>

【初級講座】

- | | |
|-----------------|--------------------|
| A1. 音の基礎 | 星和磨（日本大学） |
| A2. デジタル信号処理の基礎 | 渡邊祐子（東京電機大学） |
| A3. 電気音響の基礎 | 田村良隆（スタジオイクイップメント） |

【中級講座】

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| B1. 室内音響入門 | 中原雅考（ソナ/オンフューチャー） |
| B2. 音の心理評価入門 | 丸井淳史（東京藝術大学） |
| B3. 実用デジタルオーディオプロセッシング | 鈴木久晴（エヴィクサー） |
| B4. スピーカ入門 | 小谷野進司（KOYANO Sound Lab.） |
| B5. マイクロホン入門 | 小野一穂（NHKエンジニアリングシステム） |

【特別講座】

- | | |
|-----------|--------------|
| C. 技術英語入門 | 鈴木弘明（MQA/ソナ） |
|-----------|--------------|

例会の活動について

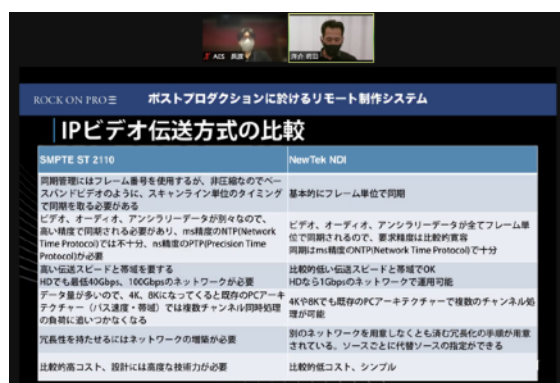
AES日本支部 例会担当 西村 明（東京情報大学）

例会は支部活動の一部門として、会員の皆様へオーディオに関する様々な話題を提供することを目的として活動しております。ご承知のとおり、2020年9月より現在まで、Covid-19感染防止のため、対面での例会を差し控え、Zoomウェビナー形式によるオンライン例会を継続しております。オンライン開催の場合、ほぼ定員に制限なく実施できることが分かりましたので、対面開催時に比べると毎回2倍以上のお申込みとご参加をいただいております。心より御礼申し上げます。

7月例会より、本部のイベント運営の方針に則り、オンライン講演者との発表内容に関する覚書を交わすこととし、同時に参加者の皆様にもオンラインイベント参加同意書へのご同意を頂くこととなりました。このような取り決めによって、例会コンテンツを今後より活用する機会を探っていきたいと考えています。また、例会直後に実施している参加者アンケートのご回答から、今後の例会テーマを開拓していきたいとも考えておりますので、アンケートには是非ご協力をお願いしたく存じます。

オンライン例会には様々なメリットがあることを、参加された皆様はお感じになっていると思います。一方で、Covid-19の感染拡大状況を注視しつつ感染防止対策を踏まえて、対面での施設見学等も検討していく予定ですので、今後ともご参加とご支援をよろしくお願いいたします。

<2021年度実施報告>



7月例会

開催日： 2021年7月9日（金）

テーマ： ポストプロダクションに於けるリモート制作システム

講演者： 株式会社メディア・インテグレーション
Rock On Pro事業部 前田洋介 氏

参加者数： 47名



7月例会（2）

開催日： 2021年7月29日（木）

テーマ： オンライン環境における聴能形成

講演者： 九州大学 河原一彦 氏
日本音響エンジニアリング株式会社
森尾謙一 氏

参加者数： 54名



10月例会

開催日： 2021年10月14日（木）

テーマ： ドルビーアトモスミュージックの制作ノウハウについて

講演者： Dolby Japan 株式会社 シネマ&コンテンツソリューション部 コンテンツ技術担当
シニア・テクニカル・マネージャー
中山尚幸 氏

エンジニアプロデューサー
dream window inc. AES Fellow
深田晃 氏

参加者数：110名



12月例会

開催日： 2021年12月10日（金）

テーマ： Sony 360 Reality Audioの制作ノウハウについて

講演者： ソニー株式会社 ホームエンタテインメント&サウンドプロダクツ事業本部 V&S事業開発部 コンテンツワークフローソリューションマネージャー

山内裕司 氏

株式会社ソニー・ミュージックソリューションズ ソニー・ミュージックスタジオ部長
レコーディング&マスタリングエンジニア
鈴木浩二 氏

参加者数：76名

日本学生支部 支部長挨拶

AES日本学生支部 支部長 森永 実季（東京藝術大学）

大変寒さの厳しい日々が続きますが、皆さまお元気でお過ごしでしょうか。

AES日本学生支部長を務めております、森永と申します。日本学生支部の活動を進める中で、AES日本支部の皆様には、日本大学の星先生をはじめ多くの方々にご協力を賜り、この場を借りて感謝申し上げます。



昨年度から日本支部便りに、このように日本学生支部の活動を紹介する場を設けていただき、また今年度も掲載の機会をいただきましたこと、大変嬉しく思います。

日本学生支部では今年度も、昨年度に引き続きオンラインにて「若手・学生のためのAESジャパンフォーラム2021」を学生主体で開催しました。前回の経験をもとに、比較的スムーズな運営を行うことができたのではないかと考えております。特に今回は、専門学校や高等専門学校など、より若い世代の学生が研究・成果発表に参加してくださいました。次回以降もさらに、他の学会発表などと比べてカジュアルな発表の場として、より多くの幅広い世代の若手・学生に興味を持ってもらえたら、と考えております。

最後になりますが、日本学生支部の活動について、より詳細に以下の公式ホームページに掲載しております。よろしければご覧ください。

本年もAES日本学生支部の活動へのご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

AES日本学生支部公式ホームページ

<https://japan.aes-student.org/wordpress/>

日本学生支部の活動について

AES日本学生支部

AES日本学生支部では、11月に「若手・学生のためのジャパンフォーラム2021」を学生主体、オンラインにて開催いたしました。

若手・学生のためのAESジャパンフォーラム2021

昨年度に引き続き、Zoomを利用したオンライン開催となりました。研究／成果発表は昨年度よりも多い、18件のお申込みをいただき、様々な大学／専門学校／高等専門学校の学生による発表が行われました。

フォーラムの企画運営は、特設サイトの作成や特別企画の考案など、日本学生支部の運営メンバーを中心に行いました。またフォーラム開催にあたって、日本支部の皆様にもご相談にのっていただき、学生だけでは難しい部分のお手伝いをさせていただきました。ご協力いただいた日本支部の皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。

・研究成果発表

発表形式は、昨年度と同様にポスター・動画の2種類を発表者が選択する形としました。それぞれDropbox・YouTubeを用い、イベント当日3日前の11月20日から24日まで、特設サイトでいつでも視聴やコメントができるようにしました。フォーラム当日は、Zoomのブレイクアウトルーム機能を用いて各発表者が60分間質疑応答を行いました。

発表者18件の内訳は、音響芸術専門学校2件、九州工業大学1件、工学院大学4件、産業技術高等専門学校1件、東京藝術大学2件、東京工科大学1件、名古屋芸術大学7件でした。



・特別企画

今年度の特別企画は、「音楽・音響業界のサステイナブルな未来を考えよう！」と題し、SDGs（持続可能な開発目標）のために音楽や音響に関わる私たちが何かできることがあるか、プレゼンや意見交換をしました。音とSDGsを絡めて考えるのは意外と難しかったようですが、学生や教員の皆様からさまざまな面白い意見を聞くことができました。

また、閉会後には、懇親会の代わりにフリータイムを設け、気軽に相談や近況報告ができるようにしました。

・目安箱／アンケート調査の実施

フォーラム参加者の皆様からの日本学生支部や、フォーラムに関する意見をもらうために、Google jamboardを利用した目安箱の設置と、Googleフォームアンケートを行いました。

2年連続で、「若手・学生のためのAESジャパンフォーラム」はオンライン開催となり、昨年度よりスムーズに進行することができた一方で、企画内容や参加者への広報など、今後のフォーラム開催への課題が見えてきました。

次回以降、若手・学生の研究、成果発表の場を作ることに加えて、より多くの学生・社会人の方々の参加を見込めるような広報や、学生の就職に役立つ企業説明会の実施に取り組めたら良いです。また、大きな課題として卒業・修了などによる学生支部メンバーの移り変わりが激しく、なかなかうまく学生支部運営の引き継ぎが行えていない現状があります。積極的に日本の学生（特に卒業・修了が近い学生）に声をかけて行く必要があります。

編集後記

AES日本支部・日本学生支部便り 2021年 冬号をお読みいただき、ありがとうございます。昨年に引き続き、本誌はAES日本学生支部との共同発行という形をとらせていただいております。執筆者のみなさまをはじめ、ご協力くださった方々に感謝申し上げます。

2021年からAESのロゴマークやウェブサイトが一新されたことに伴い、支部便りのデザインもカラーガイドラインに則った仕様にしてみました。様々なグラデーションパターンがありますので、今後も少しずつ変化させていきたいと思っております。

まだまだ予断を許さない状況が続きますが、みなさまのご健康をお祈り申し上げます。

AES日本支部 広報担当